



臨時会報 (2020年4月2日発行)

◆◆◆◆ 例会は現在休会中です ◆◆◆◆

新型コロナウイルス感染防止のため、2月20日第1007回を開催した後、2月27日(第1008回)から当分の間、例会は理事会決定による休会となっています。

例会は休会中ですが、第1007回の記録をお届けするため、本会報を臨時発刊致します。

今後、例会を再開した週の翌週から再び1008号として発刊を続けますので、ご協力の程、宜しくお願ひ致します。会員の皆様、ご自愛のほど……。一日も早い終息をお祈り致します。

会報委員長 松田 親男

第1007回例会 (2020年2月20日の記録)

<会長の時間>

木下 健治会長

皆様、こんばんは。摂津 RC から東谷様、北畑様ようこそいらっしゃいました。いよいよこの例会場での例会も今日を含めてあと2回となりました。来週の最終例会は、皆さんの思い出を語って頂きますので、よろしくお願ひ致します。さて、日に日に新型コロナウイルスの感染者数が増えて、直近のイベントの中止や延期が増えています。明後日土曜日に予定されていた、吹田江坂 RC の30周年記念式典が中止になりました。時節柄仕方がないこととはいえ、いろんな意味でこれは大変な損失かと思ひます。大阪府も今日から3/20まで、府主催のイベントは原則中止や延期にすると発表されました。府立大学や府立高校の卒業式も中止か延期されるのでしょうか？国からも不要不急の場合には…とありますが、例えば卒業式後の謝恩会とか不要不急とは言えないし、人は集まるし、ということで判断が難しいところではあります。長女の卒業式が29日でその後に謝恩会がありますが、今のところ中止等の連絡はありません。私立校なので独自の判断になるかと思ひますが、気になるところではあります。私も3/6に東京で開催予定だった、定期的で開催されている講演会の延期の連絡がありました。100人程度ですが全国から来るので、迷惑は掛けられないということで、残念ですが苦渋の決断ということでした。また、私の業界のMDRT日本会の大会が毎年4月に開催されるのですが、毎年3,000人強全国から集まるのですが、今年は50周年という節目の年なので国内外からゲストを含め、7,000人が神戸に集まる予定です。こんな状況なので、先週末に危機管理委員会を立ち上げ、私もそこに助言する立場にあるので、常に最新情報をモニタリングしています。MDRT 米国本部からも役員全員が来日予定なのですが、今のところ渡航自粛の要請はないようです。今クルーズ船を含めると日本は中国についてダントツに感染者が多いので、外国からすると日本への渡航や日本からの渡航の方が警戒されると考えています。イベント業者に確認すると、3月分は中止・延期の相談はありますが、4月についてはまだないようです。私もこの50周年大会のために4/16を休会日にしてもらったので、開催となって欲しいです。

<お客様> 東谷 弥八郎様 (摂津 RC) 北畑 瑞穂様 (摂津 RC)

<出席報告> 松田 親男 副 SAA

会員数 (内出席免除会員 1 名) 19 名

本日の出席者数 15 名

(内免除会員 1 名)

(名誉会員 0 名)

本日の出席率 78.95%

<ロータリーソング> 全会員

♪それこそロータリー♪

<本日のピアノ曲> 近藤 美里さん

1. ハナミズキ
2. Take The "A" Train
3. Let Me Go

<幹事報告>

木下 健治会長

1. 地区ガバナーより首里城再建支援金送付の報告がありました。
詳細を回覧致します。
2. 書類保管用のドッチファイルをご入用な方は事務局までお声掛け下さい。
事務局移転に向けまして書類整理後、使用可能なファイルが十数冊分あります。

<IM ロータリーデー PR>

摂津ロータリークラブ IM 実行委員 東谷 弥八郎様

北畑 瑞穂様

2020年3月28日(土)開催予定でしたが、PRをして頂きました直後に
新型コロナウイルス感染症流行のため、開催中止の連絡が入りました。



<SAA報告>

黒川 彰夫 SAA

※スマイルボックス

- 西本明文会員 本日卓話です。
黒川会員 3月の学会、研究会は中止となりました。
水島会員 西本会員、卓話よろしく。
水本会員 申し訳ありません。次週欠席です。
エクスポパーク、本日最後です。惜しいな！
藤田会員 西本会員、卓話よろしく。
西本詩子会員 1階のフロアーももうすぐお別れ、懐かしみました。
山本（友）会員 西本会員、卓話よろしくお願いたします。
相原会員 コメントなし。

※ロータリー財団

- 黒川会員 木下会員の御長女の合格おめでとう。

※米山記念奨学会

- 藤田会員 摂津 RC,東谷様、北畑様 本日よろしくお願いたします。
黒川会員 来週このホテルとのお別れですね。
山田会員 コメントなし。

※ラオス基金

- 黒川会員 加奈子さんによるとラオスへは5月頃に行きたいとの事です。
村田会員 コメントなし。
藤田会員 コメントなし。

※メイプル基金

- 藤田会員 コロナウィルスに注意！
西本明文会員 今日がこのホテルの最終例会です。
西本詩子会員 卓話頑張ってください！
相原会員 コメントなし。



昭和19年（1944年）3月～7月太平洋戦争中の日本陸軍は大きな犠牲を払い敗退した。一般国民を巻き込むことのないインド、ビルマ国境地帯の局地的な戦争であったにも関わらず、醜悪な印象を与えている。

この戦争は打ち寄せる敵に対して撃退するのではなく、積極的な意図を持って野心的に立案された攻撃計画であったが、完敗に帰した戦いであった。参加した日本陸軍は、総数17万5000人で司令官は牟田中廉也中将である。この牟田中廉也中将の奇矯な性格強引な言動、無責任と見える行動は作戦そのものへの嫌悪感をかきたてている。

この話は高木俊朗著の「インパール」「坑命」「全滅」で一般に知られている。まず、当時日本陸軍はビルマへの侵攻は考えていなかった。マレー半島を南進して、シンガポール占領、南はタイ、ビルマの間の国境を越えた限定的な作戦のみでビルマのラングーン占領からビルマ奥地の制圧は計画されていない。これをエスカレートさせたのは、当時の参謀本部服部卓四郎中佐とされている。

対英米戦では、タイ、中国戦にとってビルマは極めて重要な地域となった。それは中国大陸沿岸を日本軍によって占領された蒋介石政権は大陸沿岸から重慶方面への物資輸送が出来ない危機に瀕していた。そこでアメリカ政府は昭和16年12月、ビルマのラングーン港から陸路で中国奥地に続く「援蔣ルート」を作り、民間顧問が管理するアメリカ軍のトラックは連日ビルマと中国との国境峠を越えて物資の輸送を開始した。

しかし長い山頂の道路は途中通貨税や局地的に駐在する軍団による横領で苦しめられていた。これを避けて重慶にいる蒋介石政府に直接物資を届ける手段として、ビルマの北部にミイトキーナ飛行場を建設。そこから民間航空会社による中国奥地への空輸（ヒマラヤ山越え）が開始され、「援蔣ルート」は陸路と空路の2本立てとなった。

昭和17年日本陸軍はビルマ攻略のこの援蔣ルートの完全切断であり、これは戦争全体の状況を変える作戦になり得ると考えたのである。

昭和19年3月5日日本陸軍は重要な空輸拠点インパール南道ディマフルを経由して、ビルマのアッサム地方にある飛行機群にはこぼれていたルートを破壊すべく総勢17万5000人を進軍させた。3月15日チンドウィン河を渡ってチン高地帯に侵入した。森林山岳地帯とイギリス軍に苦しめられやっとの思いでインパール盆地に到達した時には体力、食糧も消耗しきっており、インパール防衛を破る力は殆ど残されていなかった。

7月4日この作戦は中止と決定され通達されたが、4月初旬にはこの闘いの負け戦は誰の目にも明らかであった。作戦終了、敗退となって退却し始め、同年7月から11月まで4ヶ月の血みどろの退却が行われるが、チンドウィン河川辺で飢餓と感染症で多数の兵士が死亡。ラングーンまで達するのに、5ヶ月も要した。ラングーンに退却時は65000人程となり約10万人以上の日本兵が失われていた。

そして8月には米英の連合軍は攻勢に出て、米国はマリアナ諸島から東京に向けてB-29戦略爆撃機で日本の主たる都市が爆撃され本国日本が危なくなってきた。中国、東南アジアの戦争は国力の低下と共に、空しい顛末を迎える事になる。昭和20年5月ビルマの首都ラングーン陥落、日本軍の総退却。昭和20年8月15日、日本は連合国に無条件降伏となった。

R2.2.20記

<編集後記・追加情報・チョット一言・ライブラリー・etc>

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、3月末まで臨時休会になりました。

文責；西本 明文